

名古屋大学と新城市との持続可能な地域づくり及び公共交通の活性化・再生等に係る連携協力に関する協定書の締結について

■背景

高齢化の進展により自動車を運転できない高齢者が増えてきていることや、小中学校の再編により学区が広域化していることなどから、市内の公共交通機関（特にバス）の役割が非常に重要となってきています。

このような状況を踏まえ、より市民に利用される持続可能な地域公共交通を目指して、計画的かつ有効な施策を検討していく必要があるため、東海地区の多くの市町村で地域課題を解決し、持続可能な地域づくりに向けた施策の提案をしてきた実績のある名古屋大学大学院環境学研究科と、下記のとおり連携協定を締結しました。

■締結日・場所

令和3年1月8日（金）午後2時30分から
新城市役所 本庁舎 3階 政策会議室

■協定締結相手先

国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学大学院 環境学研究科（西澤 泰彦 研究科長）

■協定の主な内容

- (1) 地域における持続可能な地域づくり等に関する行政施策の立案及び推進に関すること。
- (2) 地域公共交通の活性化・再生に関する施策の立案及び推進に関すること。
- (3) 相互の人材育成に関すること。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するために必要な分野における協力に関すること。

《締結式の様子》

